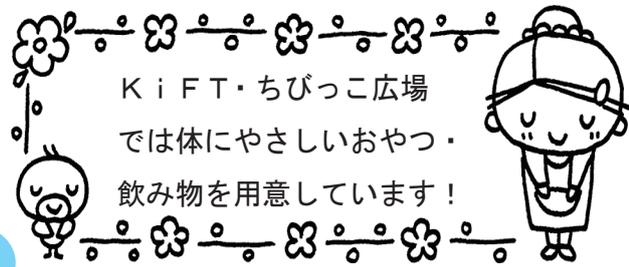


応援します。なかよし親子

Come Come



2021年6月号



言葉はコミュニケーションをとるための大切なツール！



発達  
の姿

0ヶ月

物をじっと見る

ミルクをあげるときは「おいしいね。いっぱい飲もうね」と目と目を合わせ、ゆったりと話しかけましょう。あなたがいてくれてうれしい、大好きだよという気持ちが伝わります。

3ヶ月

声が出る

赤ちゃんの「アー」「ウー」という発声には、同じトーンでまねして返したり、「～だね」などおしゃべりをしましょう。自分が出した声に返事をしてくれたことが伝わります。

6ヶ月

喃語が出る

9ヶ月

同じ物を一緒に見る

興味がある物を指さしたり、「あ、あ」と声を出したときには、タイミング良く「～だね」などと返しましょう。気持ちを共有する楽しさを知ったり、わかる言葉が増えていったりします。

発達  
の姿

1歳

簡単な一語文が出る

子どもの声やしぐさから、伝えたい気持ちを読み取って、伝えたいことを言葉にして返しましょう。

1歳3ヶ月

1歳6ヶ月

「ちょうだい」「どうぞ」「ありがとう、おいしいね」など、交互に役割が代わって物をやりとりする遊びは、会話の始まりです。演技力を発揮して表情豊かに関わりましょう。



1歳9ヶ月

二語文が出る

転んで泣いてしまったら「痛かったね」お友達が帰るときは「～ちゃん、バイバイだね」と手を振ったり、子どもの動作や気持ちを代弁しましょう。言葉の数を増やすだけでなく、人の気持ちを知るきっかけにもなります。

発達  
の姿

2歳

言葉への興味が広がる

「なぜ?」「どうして?」と質問攻めをしてくる時期。面倒がらずに、その都度丁寧に受け答えするようにしましょう。会話の楽しさを知るきっかけになります。

2歳6ヶ月

三語文が出始める

言いたいことが伝わらずに何に対しても「イヤ」と怒ったり、やりたいこととできることのギャップにいらだったりするなど、子どもの「イヤ」にはいろいろな意味があります。本当は何を伝えたいのか、その内側にある気持ちを理解するようにしましょう。

2歳9ヶ月

おしゃべりが盛んになる

言葉でコミュニケーションを取りながら遊ぶようになります。「貸して」「いいよ」などのやり取りは、大人が見本を見せて、時には仲介に入ったりしながら、相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを伝えられたりするようにしていきましょう。

発達  
の姿

言葉をはなせるようになるには  
①目の前にある物がなんなのかがわかる。

②それはどういう名前なのかがわかる。

③言葉によって、自分の意志を表したり、誰かと気持ちを共有出来たりすることを知る。

この3つが必要です。

言葉は、いろいろな実体験や人とのやりとりがあって、はじめて育っていくものです。はっきりした言葉でなくても声や表情、しぐさなどから気持ちをくみ取って笑顔や言葉で返していく。この繰り返し、子どもの「もっと人と通じ合いたい」という意欲を育み、言葉を伸ばしていきます。大人も一緒に楽しみながら、子どもの世界を広げていきたいですね。



ゆうゆうK i F T(児童クラブ解放日)のお知らせ

サークルではなく、ゆうゆうクラブのホールを利用できる日を設けました。日時は下記の通りです。飲み物、おやつは各自持参して下さい。ティータイム後はゆうゆうクラブの備えてある玩具でも遊ばまも自由に遊べます。

7月の解放日…9日(金) 10:00~11:30 ハーバリウム教室

9月の解放日…17日(金) 10:00~11:30 ペーパークイリング教室

